大学・高専機能強化支援事業（支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学　一般枠、特例枠】実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F129110109215	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（一般枠）
大学名	奈良女子大学	設置区分	国立	事業計画名	奈良女子大学生活情報通信科学コースを中心とした「生活者目線」に立った女性高度情報専門人材育成事業
学校種	大学	都道府県	奈良県		

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和5年度			令和5年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①令和５年12月まで：専任教員、事業ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ(特任教員)公募開始、事業専任ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ(特任教員)着任 ②令和６年３月まで：学生増に向けた教員研究室・学生実習室・教育環境の整備 ③令和6年３月まで：「高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」実施準備(会議室整備、機器類購入)、全学副専攻（情報科学）制度化 ④令和６年３月まで：京都女子大、武庫川女子大と「高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」実施に向けた調整 ⑤令和６年３月まで：ﾃﾞｼﾞﾀﾙ教育のためのｵﾝﾗｲﾝﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」の整備 ⑥令和６年３月まで：専攻名称変更の事前相談認可後設置報告提出、在学生向け説明の実施	①令和５年12月まで：専任教員、事業ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ(特任教員)の公募を開始。令和6年3月までに、専任教員（教授1名・専任講師１名）事業専任ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ(特任准教授３名）の教員を採用。 ②令和６年３月まで：学生増に向けた教員研究室・学生実習室・教育環境を一部整備 ③令和6年３月まで：「高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」実施準備(会議室整備、機器類購入は令和６年度実施に変更)、全学副専攻（情報科学）は制度化を実施 ④令和６年３月まで：京都女子大、武庫川女子大と「高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」実施に向けた調整を行い、 キックオフとして3大学連携でシンポジウムを実施し、情報共有と事業の社会への発信を実施 ⑤令和６年３月まで：ﾃﾞｼﾞﾀﾙ教育のためのｵﾝﾗｲﾝﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」の準備に着手、協力先の選定と企画構想検討を開始 ⑥令和６年３月まで：専攻名称変更の事前相談認可後設置報告提出は、令和６年実施に変更。在学生向けの説明は、先行し今後の計画として、ホームページやシンポジウムの開催を通じて周知をすすめた。	「②令和６年３月まで：学生増に向けた教員研究室・学生実習室・教育環境の整備」について ・増員した教員の研究室を整備した。電源増設工事については、電源ケーブル等資材の全国的な供給不足により、令和5年度に実施できなかったが、供給不足の回復も伴い令和6年度中に整備を実施する。 「③令和6年３月まで：「高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」実施準備(会議室整備、機器類購入)、全学副専攻（情報科学）制度化」について ・全学副専攻（情報科学）の制度化は実施した。会議室整備、機器類購入は、令和５年12月に会議室が所在する建物の全面改修工事が文部科学省補正予算措置により決定したため延期することとなった。令和6年度内に完了予定の改修工事とあわせ、機器類の購入・会議室整備も令和6年度中に実施する。 「⑤令和６年３月まで：ﾃﾞｼﾞﾀﾙ教育のためのｵﾝﾗｲﾝﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」の整備」について ・協力機関と企画構想検討を開始した。「デジタル奈良女子大学」の位置づけ、より有効な地域との連携方法について改めて練り直しを行った。令和6年度に新たに着任したコーディネータが主体となって令和6年度事業期間にプラットフォームの整備構築し、コンテンツの拡充を行う。 「⑥令和６年３月まで：専攻名称変更の事前相談認可後設置報告提出、在学生向け説明の実施」について ・当初令和5年12月末までに専攻名称変更の申請を行う予定であったが、公開されていた前年度12月末までに変更申請を受け付ける案内は私学のみ対象で、国立大学の場合前年度4月～6月までに申請する必要がある旨文部科学省への相談時に判明したため、専攻名称変更は1年後ろ倒しとし、令和６年度に申請を行う。		
令和6年度			令和6年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①４月：専任教員(教授1、准教授2、助教１)着任、事業専任ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ(特任教員)着任 ②４月以降：学生増に向けた教員研究室の整備、教育環境整備(ﾌﾛｱのﾌﾘｰｱｸｾｽ化、等)、全学副専攻（情報科学）の開始 ③４月以降：高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ実施準備 ④４月以降：「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」のｺﾝﾃﾝﾂ拡充、ｺﾝﾃﾝﾂ拡充に向けた機器の充実 ⑤４月以降：高度情報人材OG招聘によるｷｬﾘｱ教育拡充、企業ﾆｰｽﾞ聴取とﾆｰｽﾞに基づく教育改善 ⑥４月以降：授業（在学生向け対面授業、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ生向けｵﾝﾗｲﾝ授業の準備）	①４月：専任教員(教授1名、専任講師1名)着任、事業専任ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ(特任教員)着任、10月：専任講師1名、11月：助教1名着任 ②４月以降：学生増に向けた教員研究室の整備、教育環境整備(学生実験室電源増設工事等)、全学副専攻（情報科学）の開始 ③４月以降：高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ実施準備（会議室整備、音響・映像機器類購入） ④４月以降：「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」のｺﾝﾃﾝﾂ拡充、ｺﾝﾃﾝﾂ拡充に向けた機器の充実 ⑤４月以降：高度情報人材OG招聘によるｷｬﾘｱ教育拡充、企業ﾆｰｽﾞ聴取とﾆｰｽﾞに基づく教育改善 ⑥４月以降：授業（在学生向け対面授業、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ生向けｵﾝﾗｲﾝ授業の準備）、なお、前年度から今年度実施に変更になった専攻名称変更の事前相談認可後設置報告については、7月に提出し、7月31日付で文部科学省より受理の報告を受領	②教育環境整備(ﾌﾛｱのﾌﾘｰｱｸｾｽ化、等)について 令和6年度は、大学全体で居室の再割り当てが進められており、フロアのフリーアクセス化は、その作業が完了した後に実施する予定である。 ⑤令和7年度開講大学院授業「プロジェクトマネジメント実践論」において、高度情報人材OGや複数の企業関係者を講師として招聘するための交渉など、必要な準備を実施した。 ⑥専任教員の増員およびオンライン授業用設備の整備など、令和7年度の授業開講に向けた準備を進めた。		
令和7年度			令和7年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①４月以降：学部定員増(学部12名、編入学8名増)での教育開始、教育設備の整備(PC整備等) ②４月以降：全学副専攻(情報科学)の実施、点検と改善実施 ③４月以降：「高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」の開始、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ実施後に点検と改善実施 ④４月以降：「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」のｺﾝﾃﾝﾂ拡充、広報 ⑤４月以降：高度情報人材OG招聘によるｷｬﾘｱ教育拡充、企業ﾆｰｽﾞの聴取とﾆｰｽﾞに基づく教育改善 ⑥４月以降：専任教員、事業ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの継続雇用による事業実施体制の維持	①４月以降：学部定員増(学部12名、編入学8名増)での教育開始、教育設備の整備(PC整備等) ②４月以降：全学副専攻(情報科学)の実施、点検と改善実施 ③４月以降：「高度情報教育促進支援プログラム」について、連携先大学の状況を踏まえ、合同ゼミ等研究面での大学間交流に計画変更。R8年度の実施に向けた検討を行った ④４月以降：「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」は「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良」と「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」に再編成済。「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良」のｺﾝﾃﾝﾂ拡充、広報および、「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」のUI改良を実施 ⑤４月以降：高度情報人材OG招聘によるｷｬﾘｱ教育拡充、企業ﾆｰｽﾞの聴取とﾆｰｽﾞに基づく教育改善 ⑥４月以降：専任教員、事業ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの継続雇用による事業実施体制の維持		
令和8年度			令和8年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月以降：学部定員増(学部12名、編入学8名増)に伴う教育設備の整備の継続(PC整備等) ②４月以降：全学副専攻(情報科学)の実施、点検と改善実施 ③４月以降：「高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」の実施、点検と改善実施 ④４月以降：「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」のｺﾝﾃﾝﾂ拡充 ⑤４月以降：高度情報人材OG招聘によるｷｬﾘｱ教育拡充、企業ﾆｰｽﾞ聴取とﾆｰｽﾞに基づく教育改善 ⑥４月以降：専任教員、事業ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの継続雇用による事業実施体制の維持 ⑦７月以降：博士前期(修士)課程の定員増(5名増)による入試実施			
令和9年度			令和9年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月以降：博士前期(修士)課程の定員増(5名増)による教育開始、教育研究設備の整備 ②４月以降：学部定員増(学部12名、編入学8名増)に伴う教育設備の整備の継続(PC整備等) ③４月以降：全学副専攻(情報科学)の実施、点検と改善実施 ④４月以降：「高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」の実施、点検と改善実施 ⑤４月以降：「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」のｺﾝﾃﾝﾂ拡充 ⑥４月以降：高度情報人材OG招聘によるｷｬﾘｱ教育拡充、企業ﾆｰｽﾞ聴取とﾆｰｽﾞに基づく教育改善 ⑦４月以降：専任教員、事業ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの継続雇用による事業実施体制の維持			
令和10年度			令和10年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月以降：学部定員増(学部12名、編入学8名増)、博士前期(修士)課程定員増(5名増)に伴う教育設備の整備の継続(PC整備等) ②４月以降：全学副専攻(情報科学)の実施、点検と改善実施 ③４月以降：「高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」の実施、点検と改善実施 ④４月以降：「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」のｺﾝﾃﾝﾂ拡充 ⑤４月以降：在学生向け教育の継続実施、ｷｬﾘｱ教育の拡充(OGの積極招聘)、情報教育に係る広報の拡充 ⑥４月以降：専任教員、事業ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの継続雇用による事業実施体制の維持 ⑦７月予定：博士前期(修士)課程の定員増(10名増、総計15名増)による入試実施			
令和11年度			令和11年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月以降：博士前期(修士)課程の定員増(総計15名増)による教育開始、教育研究設備の整備 ②４月以降：全学副専攻(情報科学)の実施、点検と改善実施 ③４月以降：「高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」の実施、点検と改善実施 ④４月以降：「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」のｺﾝﾃﾝﾂ拡充 ⑤４月以降：高度情報人材OG招聘によるｷｬﾘｱ教育拡充、企業ﾆｰｽﾞ聴取とﾆｰｽﾞに基づく教育改善 ⑥４月以降：専任教員、事業ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの継続雇用による事業実施体制の維持 ⑦３月まで：学部定員増完成後の状況の点検と改善実施(学外者による評価実施)			
令和12年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月以降：博士前期(修士)課程の定員増(総計15名増)に伴う教育研究設備の整備 ②４月以降：全学副専攻(情報科学)の実施、点検と改善実施 ③４月以降：「高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」の実施、点検と改善実施 ④４月以降：「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」のｺﾝﾃﾝﾂ拡充 ⑤４月以降：高度情報人材OG招聘によるｷｬﾘｱ教育拡充、企業ﾆｰｽﾞ聴取とﾆｰｽﾞに基づく教育改善 ⑥４月以降：専任教員、事業ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの継続雇用による事業実施体制の維持 ⑦８月予定：博士前期（修士）課程定員増(総計15名増)後の博士後期課程入試実施			
令和13年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月以降：学生増に伴う教育研究設備の整備 ②４月以降：全学副専攻(情報科学)の実施、点検と改善実施 ③４月以降：「高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」の実施、点検と改善実施 ④４月以降：「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」のｺﾝﾃﾝﾂ拡充 ⑤４月以降：高度情報人材OG招聘によるｷｬﾘｱ教育拡充、企業ﾆｰｽﾞ聴取とﾆｰｽﾞに基づく教育改善 ⑥４月以降：専任教員、事業ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの継続雇用による事業実施体制の維持 ⑦３月まで：博士前期(修士)課程定員増完成後の状況の点検と改善実施(学外者による評価実施)			
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。
	①４月以降：学生増に伴う教育研究設備の整備 ②４月以降：全学副専攻(情報科学)の実施、点検と改善実施 ③４月以降：「高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」の実施、点検と改善実施 ④４月以降：「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」のｺﾝﾃﾝﾂ拡充 ⑤４月以降：高度情報人材OG招聘によるｷｬﾘｱ教育拡充、企業ﾆｰｽﾞ聴取とﾆｰｽﾞに基づく教育改善 ⑥４月以降：専任教員、事業ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの継続雇用による事業実施体制の維持 ⑦３月まで：助成期間終了に当たっての総括点検と評価の実施			

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	奈良女子大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

④ 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。

⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。

⑧ 教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）

⑨ 機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。

⑩ 計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。

⑪ 国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。

⑫ 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。

⑬ 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑫の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
すべての項目が要件を満たしている												

①～⑫の要件を満たしていない又は対象でない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑬,⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑬,⑭について	現在の状況
⑬文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
・「産地学官連携ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ・ﾘｶﾚﾝﾄ教育ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ(R4採択文科省補助事業)」を活用した地域DXニーズの把握と学生参加PBL実施 (実例)奈良市写真美術館協働での文化庁「大学における文化芸術推進事業」(令和４年～３年間)。ﾒﾀﾊﾞｰｽ、Web3.0等の技術を美術館と大学の協働で学生に学ばせ、観光にも貢献できるｱｰﾄｺﾐｭﾆｹｰﾀｰに育てることを目指す。美術館側のﾃﾞｼﾞﾀﾙ人材不足の解消ﾆｰｽﾞを基に産学協働で文化庁補助金に申請、採択(R4補助金額1,140千円)→ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ参画奈良県内企業・自治体のDXニーズを学生の研究課題として活用する「実践的PBL」を展開。さらに「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」を構築し学内外DXの拠点とする。 ・高度な情報知識を基にした社会貢献…知識を生活者支援に活かし、多面的に「生活者の視点」を獲得した地域DX人材を育成　(実例①)消費者啓発活動(奈良県消費生活センター、警察本部協働) (実例②)万博:中之島ロボットチャレンジ(㈱北陽電機と協働)	・昨年度に続き奈良カレッジズ連携推進センターとの連携を進め、教育用プラットフォーム「デジタル奈良」および「デジタル奈良女子大学」を運用した。 ①「デジタル奈良」：奈良地域の住民が「写真＋コメント」を投稿し、学生が地域の生活者の視点や暮らしの一端に触れることを目的とする教育用プラットフォーム。R7年度は「デジタル奈良」を活用した「デジタル奈良講座」を12回実施。その中の「デジタル講習」により地域住民へのデジタル化支援を行った。 また、専門教育科目として「生活者目線と人間中心デザイン」をR7年度に開講。人間中心設計の有資格者であり現場経験を有する実務家教員（特任教員）の指導のもと、講義とPBLを実施した。PBLでは「デジタル奈良」と連携し地域住民の協力を得て、課題の解決に取り組むことにより「生活者目線」の醸成と課題発見力の向上を図った。 さらに、一部の学生は授業終了後奈良カレッジズ連携推進センターの教員やなら産地学官連携プラットフォームの会員企業から支援を受け、自主的に提案検討を継続した。その成果は、自治体も支援する成果発表会において紹介された。 以上の取り組みについて、「なら産地学官連携プラットフォーム」主催の「企業等と大学研究者の交流会」において、「【デジタル奈良】活動による地域連携とHCD教育導入」と題した発表を行い、地域企業等との意見交換を実施した。 ②「デジタル奈良女子大学」：大学の教員や学生が学内外の幅広い知見を投稿する教育用プラットフォーム。学生が多様な知見に触れることにより、総合知の醸成を目指す。R7年度はR6年度に構築したシステムのユーザインターフェースの見直しと機能追加を行い、本格稼働に向けた整備を進めた。 ・「デジタル奈良」および「生活者目線と人間中心デザイン」の教育実践を通じて、学生が地域住民と関わりながら課題解決に取り組む環境を整備し、高度な情報知識を生活者支援に活かす力の育成を推進した。特に、生活者の投稿情報を活用したPBLにより、多面的な「生活者視点」の醸成と課題発見力の向上を実現した。 さらに、11月に公開シンポジウム「AIが紡ぐウェルビーイング社会」を主催し、学生および地域住民に対して、AIの最前線に関する学びの機会を提供した。基調講演ではAI・ロボット研究の第一人者が「AIの進化の現状と将来展望」を解説し、大学教員との討論を通じて女性AI人材育成のあり方についても議論を深めた。本シンポジウムでは、「生活者目線と人間中心デザイン」の教育内容や「デジタル奈良」と連携したPBLの取組を紹介し、地域住民と協働した実践的教育の成果を広く発信した。 加えて、奈良国立大学機構を通じて昭和工業団地協議会と学術指導契約を締結し、会員企業に対して人工知能に関する講演を実施した。また、㈱北陽電機と共同で「中之島ロボットチャレンジ」に参加し、自律走行ロボットの研究開発を推進するなど、産学連携による地域貢献に取り組んだ。 これらの取組を通じて、高度な情報知識を社会・生活者支援へ応用する視点を獲得し、「生活者視点」と実践力を兼ね備えた地域DX人材の育成に寄与した。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
・奈良教育大学連携による、学校現場に不足する情報免許保有教員の育成拡大(高校一種、専修の情報教員養成課程を設置済) ・Scratch、Mindstormを用いた情報教育に携わる小中高教員へのﾘｶﾚﾝﾄ教育(総務省ICT地域活性化事例100選選出実績有) ・奈良県内高等学校への高大接続・文理統合探究ｺｰｽ「PICASO」の横展開→大学・附属教員協働開発ｶﾘｷｭﾗﾑに基づく「剥落しない学力」を育成する2年間の高大接続ｺｰｽの実施。情報に関する探究活動に協力。附属中等教育学校と奈良市立一条高校が参画。 　⇒第４期中に「ﾓﾃﾞﾙ化」「公立学校参加の枠組構築」 を行い参画校増加を目指す点、第４期中期目標・中期計画に明記済 ・教育DXの推進…(例①)国会図書館ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾗｲﾌﾞﾗﾘの自動ﾃｷｽﾄ化を通じた国語・社会科教育の質的向上(例②)「MUSEUM DX」(文化庁補助金申請中）を通じた皆が文化資源にｱｸｾｽできるｲﾝｸﾙｰｼﾌﾞ社会の構築(例③)附属学校DX推進と成果の学外普及	・教育大学との連携により、教職科目3科目を開設し、教員養成に必要な基礎的資質・能力の育成に取り組んでいる。これにより、学校現場に求められる指導力の基盤形成に寄与している。情報系科目については現時点では教育大学との連携科目としての設定には至っていないが、検討を進めていく予定。 ・公開シンポジウム「AIが紡ぐウェルビーイング社会」の開催にあたり、広く高校等へ参加を呼びかけ、高校教員の参加を得ることで、リカレント教育への展開につなげた。県内高校において情報科学に関する模擬授業を実施し、教育内容の共有等を通じて教員の指導力向上にもつながる取組を行った。また、学部説明会のため高校に出向き、本学の教育内容や情報科学分野に関する情報提供を行うことで、教員の理解促進を図った。 ・奈良女子大学附属中等教育学校と奈良市立一条高校への高大接続・文理統合探究コース「PICASO」による、高大接続カリキュラム開発プログラムに基づく特別入試を実施し、大学全体で2名の入学者を受入れ。 ・教育DXの推進にあたっては、まず学内の教育基盤の高度化が不可欠であることから、今年度は学内環境の整備に重点的に取り組んだ。具体的には、DX推進計画に基づいて導入したLMSの課題改善を目的として新たな教務システムの検討を行い、従来別々に運用されていた教務システムとLMSを一体的に運用できる教学基盤として新教務システム「Campus-Xs（キャンパスクロス）」を構築した。本システムは令和8年4月より運用を開始している。 本取組により、学習データの一元管理や教育資源の統合的活用が可能となり、教育DXの推進に向けた基盤を整備した。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
社会人 ①企業等で活躍する高度情報女性人材ﾈｯﾄﾜｰｸ構築を通じた情報発信の継続（奈良女子大学情報科学教育検証委員会にOGも参加させﾈｯﾄﾜｰｸ化。企業のﾆｰｽﾞを大学に、大学のｼｰｽﾞを企業に循環させ、産学の繋がりをより強固なものとする） ②奈良女子大学独自の出産・子育て支援事業「ならっこネット」「育児奨学金制度」の継続実施と受験生への積極広報 ③ﾃﾞｼﾞﾀﾙ教育ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ奈良女子大学」を構築し、地域のﾃﾞｼﾞﾀﾙ拠点となり、住民の情報学習ﾆｰｽﾞに応える。 留学生 ①奈良教育大学との法人統合を契機とした２大学の国際交流協定校の共有化を通じた留学生増施策の展開 ②ｶｲﾛ大学、ｶﾞﾗﾗ大学、ﾐｽﾙ科学技術大学(いずれもｴｼﾞﾌﾟﾄ)との国際交流を新規に推進、留学生受入を予定 共　通 ①説明会・入学後講義のｵﾝﾗｲﾝ・ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ対応、②自治体等と意識啓発活動(女性情報人材ﾆｰｽﾞの情報発信)で協働	社会人 ①今年度開講の「プロジェクトマネジメント実践論」講師としてOGに依頼した。また、「プロジェクトマネジメント実践論」にご協力いただいた７社にアンケートを行い、企業のニーズの把握を行った。 ②出産・子育て支援事業「ならっこネット」「育児奨学金制度」[「女性研究者支援モデル育成事業」「女性研究者養成システム改革加速事業」「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）事業」]は継続実施。本事業では受験生への積極的な広報を行った。 ③デジタル教育プラットフォームは「デジタル奈良」と「デジタル奈良女子大学」の二つに再編成し、R7年度は「デジタル奈良」を活用した地域住民への「デジタル奈良講座」を12回実施。その中の「デジタル講習」により地域住民の情報学習ﾆｰｽﾞに応えた。 留学生 ①奈良国立大学機構の国際戦略センターによる国際化に関する取り組みとして、教育の国際化、研究の国際化、留学生受入・派遣増加、公募プログラム申請検討など「国際キャンパス奈良」実現に向けた工程表の整理が行われた。 共通 ①オンラインおよびハイブリッド講義を円滑に実施するため、スマートクラスルームの仕組みを引き続き運用し、対面とオンライン双方における学習者の参加を促進するとともに、柔軟な学修環境の整備を進めた。また、受験希望者や入学希望者に向けた情報提供の充実を図るため、オンラインによる入試説明会およびオンデマンド型オープンキャンパスを継続して実施し、遠隔地からの参加機会を確保することで、より多くの学生に向けた広報活動を推進した。 ②公開シンポジウムの開催にあたっては、奈良県教育委員会および奈良市から後援を得て、女性情報人材に関するニーズの情報発信を行った。さらに、「なら産地学官連携プラットフォーム」主催の「企業等と大学研究者の交流会」においても、女性情報人材に関するニーズの発信を行うとともに、自治体との情報交換を実施した。	留学生 ②カイロ大学、ガララ大学、ミスル科学技術大学（いずれもエジプト）との国際交流については、2022年9月の教員来訪を契機として、同年10月に当時の学長名で学術交流協定締結の可能性に関する協議開始を提案した。しかし、その後、先方大学からの具体的な応答や進展がなく、協議が停滞している状況にある。このため、当該大学との協定締結およびそれに基づく留学生受入は現時点で実現に至っていない。今後は、国際戦略センターを中心に、特定地域に限定せず留学生受入の促進に向けた取組を実施予定。

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
・包括連携協定を締結している武庫川女子大、京都女子大と連携した「高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」の展開…2023年にﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ系学部を新設した２大学と単位互換を見越した「高度情報教育促進支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」を共同実施。ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑで好成績を修めた者に奈良女子大学大学院への推薦入試受験資格を付与する枠組みを新設し、大学院進学者を増加させる計画。 ・高専専攻科修了者への特別入試の導入…高専専攻科修了生入試の枠組を設け「求める人材像」を明確化、訴求力向上。 ・奈良教育大学との情報教員養成における連携…法人統合をした奈良教育大学と情報教員の養成で協働。同大の持つ教員養成ﾒｿｯﾄﾞで教員養成の質向上と免許課程修了の便宜向上の両立を目指す。教育大学部卒業者の女子大大学院特別入試も検討。 ・文科省「国民のﾃﾞｼﾞﾀﾙﾘﾃﾗｼｰ向上事業」(奈良市採択事業)や放送大学に協力し、社会教育・ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾃﾞﾊﾞｲﾄﾞ救済にも貢献。	・武庫川女子大学、京都女子大学を共催として、シンポジウム「AIが紡ぐウェルビーイング社会」を主催。武庫川女子大学、京都女子大学からのパネリストを交え、各大学で行われている女性AI人材育成について議論を深めた。また、「高度情報教育促進支援プログラム」の具体化に向けて検討を進めた結果、連携先大学の状況を踏まえ、当初の計画を見直し、合同ゼミ等の研究面における大学間交流を中心とした内容へ変更することとした。令和8年度の実施に向けて検討を行った。 ・高専生を対象とした第3年次編入学試験を実施し、全国の高専生から8名が合格した。あわせて、高専本科から1名をインターンとして1週間受け入れ、高専生の入学者増加に向けた取組を行った。また、高専専攻科修了者への特別入試については現時点では実施に至っていないが、推薦入試による受験が可能であることを高専に周知するとともに、R7年度からは編入学生を6年一貫教育プログラム特別選抜の対象とする制度整備を行い、高専から大学院への進学を見据えた接続の強化を図った。本プログラムを活用し、R9年度には9名の高専出身学生が大学院へ進学予定である。 ・奈良教育大学との情報教員養成における連携については、情報教員養成に係る必修科目である「情報科教育法Ⅰ」において、奈良教育大学から教員を非常勤講師として迎え、同大学が有する教員養成メソッドを活用することで、教員養成の質の向上を図っている。 ・社会教育、デジタルデバイド救済については、市民参加型のデジタル教育プラットフォーム「デジタル奈良」の整備によって貢献。デジタル奈良については前述の通り。また、奈良市のDX課との情報交換を行った。	

大学名	奈良女子大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（一般枠）	本事業対象となる研究科等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－２.修士課程

<内訳>

(1) 改組組織名：大学院人間文化総合科学研究科博士前期課程情報環境学専攻

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定	届出	認可																
事業計画に定める定員		入学定員	人	10	10	10	10	15	15	25	25	25	25									
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	10	10	10	10															
		入学者数	人	13	4	14	11															
		女子学生数	人	13	4	14	11															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	0	1	0															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	0	0	0																
		女子学生数	人	0	0	0																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	0	0	0																
	入学者合計	入学定員(A)	人	10	10	10	10	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	13	4	14	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	13	4	14	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	0	1	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.30	0.40	1.40	1.10	-	-	-	-	-	-	-	-							
	収容定員等	収容定員(C)	人	20	20	20	20															
		在籍者数(D)	人	26	17	18	24															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.30	0.85	0.90	1.20	-	-	-	-	-	-	-	-							
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	13	13	3		-	-	-	-	-	-	-	-							
		就職者数	人	13	13	3																
		進学者数	人	0	0	0																
		その他	人	0	0	0																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	3	3	5	5															
		授業科目の単位数	単位	156	120	117	116															

大学名	奈良女子大学	改組内容	研究科等の設置･増員+学部等の設置･増員（一般枠）	本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－３.学士課程

<内訳>

(1) 改組組織名：生活環境学部文化情報学科生活情報通信科学コース

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定	選定･届出	増員																
	事業計画に定める定員	入学定員	人	15	15	27	27	27	27	27	27	27	27									
		編入学定員	人			8	8	8	8	8	8	8	8									
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	15	15	27	27															
		入学者数	人	18	18	29	30															
		女子学生数	人	18	18	29	30															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	1	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	15	15	27	27	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	18	18	29	30	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	18	18	29	30	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	1	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.20	1.20	1.07	1.11			-	-	-	-	-	-							-
	収容定員等	収容定員(C)	人	30	45	80	100															
		編入学定員	人	0	0	8	8															
		在籍者数(D)	人	35	52	90	113															
		編入学者数	人	0	1	9	17															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.17	1.16	1.13	1.13			-	-	-	-	-	-							-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	19	21	15				-	-	-	-	-	-							-
		就職者数	人	14	9	4																
		進学者数	人	5	12	11																
		その他	人	0	0	0																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	3	3	5	6															
		授業科目の単位数	単位	227	241	287	281															

大学名	奈良女子大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（一般枠）

２.情報系組織の状況

２－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	14	14	14	14															
		入学者数	人	5	9	3	0															
		女子学生数	人	5	9	3	0															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	2	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	0	2	1																
		女子学生数	人	0	2	0																
		社会人学生数	人	0	2	1																
		留学生数	人	0	0	0																
	入学者合計	入学定員(A)	人	14	14	14	14	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	5	11	4	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	5	11	3	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	2	1	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	2	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.36	0.79	0.29	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	42	42	42	42															
		在籍者数(D)	人	16	24	24	1															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.38	0.57	0.57	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	1	3	2																
		就職者数	人	1	3	2																
		進学者数	人	0	0	0																
		その他	人	0	0	0																
		進路不明	人	0	0	0																
	大学院博士課程	満期退学者数	人	0	0	0																
		学位取得者数	人	1	3	1																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	9	8	8	12															
		授業科目の単位数	単位	49	41	48	30															

大学名	奈良女子大学	改組内容	研究科等の設置･増員+学部等の設置･増員（一般枠）

２.情報系組織の状況

２－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	10	10	10	10															
		入学者数	人	13	4	14	11															
		女子学生数	人	13	4	14	11															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	0	1	0															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	0	0	0																
		女子学生数	人	0	0	0																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	0	0	0																
	入学者合計	入学定員(A)	人	10	10	10	10	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	13	4	14	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	13	4	14	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	0	1	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.30	0.40	1.40	1.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	20	20	20	20															
		在籍者数(D)	人	26	17	18	24															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.30	0.85	0.90	1.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	13	13	3																
		就職者数	人	13	13	3																
		進学者数	人	0	0	0																
		その他	人	0	0	0																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	3	3	5	5															
		授業科目の単位数	単位	156	120	117	116															

大学名	奈良女子大学	改組内容	研究科等の設置･増員+学部等の設置･増員（一般枠）

２.情報系組織の状況

２－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	15	15	27	27															
		入学者数	人	18	18	29	30															
		女子学生数	人	18	18	29	30															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	1	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	15	15	27	27	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	18	18	29	30	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	18	18	29	30	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	1	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.20	1.20	1.07	1.11			-	-	-	-	-	-							
	収容定員等	収容定員(C)	人	30	45	80	100															
		編入学定員	人	0	0	8	8															
		在籍者数(D)	人	35	52	90	113															
		編入学者数	人	0	1	9	17															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.17	1.16	1.13	1.13			-	-	-	-	-	-							
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	19	21	15																
		就職者数	人	14	9	4																
		進学者数	人	5	12	11																
		その他	人	0	0	0																
		進路不明	人	0	0	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	3	3	5	6															
		授業科目の単位数	単位	227	241	287	281															

大学名	奈良女子大学	改組内容	研究科等の設置･増員+学部等の設置･増員（一般枠）

３.大学全体の状況

３－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	38	38	38	38															
		入学者数	人	20	24	17	24															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	4	4	6																
	入学者合計	入学定員（A）	人	38	38	38	38	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	24	28	23	24	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.63	0.74	0.61	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	114	114	114	114															
		在籍者数（D）	人	118	115	110	115															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.04	1.01	0.96	1.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

３.大学全体の状況

３－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	198	198	198	198															
		入学者数	人	178	176	180	215															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	2	3	4																
	入学者合計	入学定員（A）	人	198	198	198	198	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	180	179	184	215	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.91	0.90	0.93	1.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員（C）	人	396	396	396	396															
		在籍者数（D）	人	390	378	384	431															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.98	0.95	0.97	1.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

大学名	奈良女子大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（一般枠）

３.大学全体の状況

３－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	475	475	487	487															
		入学者数	人	518	513	537	538															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員（A）	人	475	475	487	487	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	518	513	537	538	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.09	1.08	1.10	1.10			-	-	-	-									
	収容定員等	収容定員（C）	人	1,980	1,980	2,000	2,020															
		編入学定員	人	40	40	48	48															
		在籍者数（D）	人	2,123	2,126	2,177	2,229															
		編入学者数	人	52	51	62	61															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.07	1.07	1.09	1.10															

４.外部資金の状況（全学）

項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
外部資金獲得額	千円	393,984	960,320	786,273																

特記事項

・「1.本事業の対象となる情報系組織の状況」「「1-3学士課程」の令和5年度及び令和6年度の列の「収容定員等」「編入学定員」について、本学ではR5実施R6年度入学試験まで学部全体で編入学定員が4名となっており、学科・コースごとに編入学定員を定めていませんので編入学定員は「0」としています。
・「2-3学士課程」の令和5年度及び令和6年度の列の「収容定員等」「編入学定員」について、本学ではR5実施R6年度入学試験まで学部全体で編入学定員が4名となっており、学科・コースごとに編入学定員を定めていませんので編入学定員は「0」としています。
・「3.大学全体の状況」の「3-1博士課程」「3-2修士課程」の令和5年度の列の「その他の学期」の入学定員について、本学ではその他期（秋季入学）の入学定員を定めていませんので入学定員は「-」としています。
・「1.本事業の対象となる情報系組織の状況」の「1-2修士課程」、「２.情報系組織の状況」の「2-1博士課程」「2-2修士課程」、「３.大学全体の状況」の「3-1博士課程」「3-2修士課程」にある「その他の学期」の「入学定員」の「0人」とは若干名を意味している。